

プラスチックごみ削減活動を通じた住民と観光客の持続可能な共存

活動地域  京都府



大学生リーダーの活動の様子

課題

観光やお祭りでは、来訪者もたらす環境負荷が高くなり、地域住民の負担が増すことで文化的にも持続可能性が危ぶまれている。

目標

祇園祭におけるプラスチックごみが発生しにくい仕組みづくりを通じて、地域住民と観光客とがともに環境と文化の持続性向上につながるような行動がとれるようになる。



今後の展望

祇園祭だけでなく、通年にわたる観光地である嵐山においても取組みを実施し、ポスト新型コロナウイルスの観光と地域住民との関係の中で、環境や持続可能性につながる仕組みを提案したい。

ひろげる助成

2年目

実践

活動内容と成果

- 祇園祭では、露店の出店が中止されたため、リユース食器の導入や給水スポットの設置はできなかったが、大学生リーダーによる活動を行った
- 全国の祭りやイベントでのごみ削減策事例について調査を行い、今後の活動に必要な情報を得た
- お祭り以外の観光地として、嵐山での取組みを計画し、地元商店街との調整を行い、今後の活動での協力関係が築けた
- ポスト新型コロナウイルスの観光と都市のあり方に関するセミナーを開催し、今後の考え方を共有できた



オンラインセミナーの様子

イベント参加者 **42人**

大学生リーダー **24人**

今年度計画の達成度 **30%**

目標達成度 **50%**

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

新型コロナウイルス感染症対策が断続的に行われ、取組みの対象となる祭りなどが実施できるかどうかの判断ができない状況になった。

■ 工夫した点

ポスト新型コロナウイルスの観光や都市のあり方についての関心に合わせて、テーマに沿ったオンラインセミナーを開催した。

〒612-0031
京都府京都市伏見区深草池ノ内町13
京エコロジーセンター内
電話：075-647-3535
E-mail：agenda@ma21f.jp
HP：https://keaa.or.jp/

